

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

試行錯誤する中で育った新しいイメージ／社会福祉法人立野みどり福祉会 立野みどり保育園

毎年恒例になっている行事は、どのように企画をしたり見直しをしたりしていますか？

今回は、子どもたちが楽しむように保育者が企画する参加型であった行事が、子どもたちが企画し主体的に進める展開になったことで、その後の行事でも、子どもたちが意欲的に取り組み、「科学する心」が育まれた事例をご紹介します。



宇宙ってなんだろう？／5歳児

事例：宇宙に関する遊びを楽しむ

● 4月

散歩に行った公園で、数名が宇宙ごっこを楽しむ。

国際宇宙ステーションで船長として日本人が活躍するニュースを見た子どもや、遊園地で宇宙系のアトラクションを楽しんだ子どもがそれぞれイメージを出して楽しんでいるため、周囲の子どもが引き込まれて遊びになった。

● 5月

国際宇宙ステーションやロケットをブロックで作り、友達同士で見せ合ったり、宇宙ごっこをしたりする。その後は時々、宇宙をイメージした遊びが展開するようになる。

事例：宇宙ってなんだろう？

● 6月

宇宙ごっこを楽しむ姿が見られるので、保育者が「宇宙ってなんだろう？」と問いかける。

子どもたちは、ロケット、星、宇宙人など、思い思いに描く。

宇宙のイメージが広がるように、図書館に行くと、宇宙に関するコーナーの本を次々と手に取り、友達同士で夢中になって見合っていた。

宇宙に関心が薄いように見えたAちゃんBちゃんは、一人でじっくりと宇宙の図鑑を見ていた。

子どもたちは「図書館ってすごいね」「何でも分かるんだね」と言い、本を借りて帰った。

その後、借りた本を毎日のように見る姿がある。

「土星がかっこいい」「天の川がある」「ブラックホールって怖い」などと、友達との会話に宇宙に関する名詞が出てくる。



✦ 事例：お泊り保育で楽しむ宇宙

お泊り保育で恒例になっていた夜の活動は、子どもが参加する「肝試し」であった。その話を始めると「お化け怖いな」「じゃあさ、夜の時間が楽しくなることないかな?」「宇宙探検がいい」「星の部屋やブラックホールの部屋があるの」「宇宙を作って探検しようよ」「それじゃ、ナイトツアーってどうかな?」「ナイトツアー! カッコいい」「楽しみ」と盛り上がった。そして、子どもたちが参加するのではなく、企画して楽しむ活動になった。

子どもたちは早速、「宇宙は黒いよ」と、黒い模造紙に白いクレヨンで「星」「太陽」「木星」など、図鑑と同じように描こうとする。「暗い所で見てみよう」と、部屋のカーテンを閉め、電気を消して見る。「あれ? 見えない」と、見えないことが意外だった様子の子どもたちは、どうしたらいいのか考え合っていた。

教材の工夫：蛍光ペン、ブラックライト

保育者が蛍光ペンで絵を描き、ブラックライトを当てて見せた。すると、子どもたちは誕生会の時に体験したことを思い出し、「分かった」「これで描けば、暗い所でも見えるね」と言い、蛍光ペンで描き続けた。集中して描き足し、塗り続け、黒い模造紙の宇宙の絵を仕上げた。



お泊り保育のナイトツアーでは、ブラックライトで浮かび上がる自分たちの宇宙に見入っていた。

✦ 事例：地球を作ろう！ロケットを作ろう！

ナイトツアーの経験は、その後の夕涼み会のおみこし作り（地球作り、ロケット作り）に繋がった。友達と夢中になって作り上げる過程で、様々な学びをし、表現する喜びを体験した。

● 子どもたちの気づきや学びが把握できる言葉

(丸いザル2つ合わせて地球をイメージし)「地球は青に白だ」「島を作ろう」
(島が多く海が狭い)「こんなに海が狭かったら、魚が棲めないよ」
(地図通りに大陸や島を付けていく)「日本はどこ?」
(地球ができて)「周りに他の惑星を付けてみようよ」
(ロケットに使うペットボトルに着色する)「ペットボトルに塗っても、上手く色が付かない」「じゃあ、中に何か入れよう」
(ロケットを組み立てる時のペットボトルの数)「(土台になる1番下から)最初が4で、次が3で、その上が2で、一番上に1」「そうしよう」
(カラービニールテープで止めて立てるが立たずみんなで支える)「手で押さえていないといけないロケットじゃなくてさ、一人で立つロケットにしようよ」「ブロックで作った時は倒れないのにな」「ビニールテープは止めよう」「セロハンテープ、透明だから、中がよく見えるし」
(ロケットに羽や炎を付ける)「グラグラしてきた」「やっぱり、ガムテープの方がいい」
作った地球やロケットで、おみこしを楽しみ、満足感を味わった。



✦ 考察

● 「科学する心」に結び付く体験

- 宇宙を知りたいと思った子どもたちは、図書館に行き、地域との関わりをした。保育園ではない社会マナーを感じ行動する体験をした。本と出合うことで、自分のイメージしたことと本から分かったことをすり合わせ、知らなかったことを知っていく喜びを味わった。
- 宇宙の絵では、暗くすると見えないが、ブラックライトを使うと見えるようになる体験を思い出し、活動に取り入れて思いを実現した。
- ロケットでは、土台を丈夫な立体にすると立つことを体験し、協力して思いを実現した。
- 友達と思いを言い合い、友達の思いを聞いて取り入れたり教え合ったりして取り組んだ。
- 失敗や試行錯誤を重ねて最後まで取り組んだ。
- 「宇宙」に夢中になった活動を通して描画表現に変化が表れ、表現活動が充実した。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム
幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」